

# 第67回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会のご案内【第1報】

第67回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会

大会長 外木守雄

(日本大学歯学部口腔外科学第I講座 主任教授)

実行委員長 田中孝佳

(日本大学歯学部口腔外科学第I講座 診療准教授)

第67回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会を下記の要領で開催いたします。  
会員各位の多数の演題発表と学会参加をお願い申し上げます。

- 会 期：2022年11月4日(金)・5日(土)・6日(日)  
【理事会・定時総会等は11月3日(木)に開催いたします】
- 演題募集期間：2022年3月8日(火)～5月11日(水) 正午
- 参加登録期間：2022年4月4日(月)～11月30日(水) 正午
- 会 場：幕張メッセ国際会議場・イベントホール  
〒261-8550 千葉市美浜区中瀬2-1  
TEL：043-296-0001(代) FAX：043-296-0529  
<https://www.m-messe.co.jp/>
- 第67回大会HP：<http://web.apollon.nta.co.jp/jsoms2022/>
- 大会テーマ：温故知新—咬合外科学を再考する—  
Learning from history, predicting the future  
— Rethinking occlusal surgery —

2022年11月4日(金)～6日(日)に、幕張メッセ国際会議場・イベントホールにて、第67回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会を開催させていただくことになりました。

テーマは『温故知新』 Learning from history, predicting the future, サブテーマを「咬合外科学を再考する」 Rethinking occlusal surgery といたしました。

11月の感染状況が全く予想できないことから、当初より対面参集+ハイブリッド配信を予定いたします。新しい学会の形として、発表者は原則現地で行い、感染状況に応じてハイブリッドも検討いたします。また、スマートホンなどで現地にいる感覚で参加できるような空間を設定いたします。

なお、会期後も 11月30日までアーカイブ配信を行いますので、皆様には奮ってご参加をいただきますようお願い申し上げます。

# I. 学術大会企画プログラム(案) 現時点でのご案内となります \*テーマなどは仮題です.

## 1. 特別講演 I

### 1) 『天職 (仮)』

天野 篤 先生 (順天堂大学 特任教授 医学部附属順天堂医院 心臓血管外科)

### 2) 『災害時感染制御と医療関連感染対策』

※ 歯科専門医機構共通研修 (予定)

櫻井 滋 先生 (SMD/ 静眠堂メディカルデザイン・静眠堂スリープラボシステムズ  
元・岩手医科大学医学部 教授)

## 2. 教育講演

### 1) 『Sweeten the Future 老舗企業のパーパス経営』

三須 和泰 氏 (カンロ株式会社 代表取締役社長・CEO)

### 2) 『医療における安全上の注意点 ～カルテ記載・せん妄リスク～

※ 歯科専門医機構共通研修 (予定)

ー麻酔薬使用時の注意点ー』

水沼 直樹 先生 (東京神楽坂法律事務所, 東邦大学医学部, 埼玉医科大学医学部国際医療センター)

## 3. 関連学会理事長講演

『整形外科の現状, 日本整形外科学会の取り組み (仮)』

中島 康晴 先生 (日本整形外科学会理事長 九州大学医学部整形外科学教室)

## 4. 海外招聘講演

### 1) 『未定』

Daniel Buchbinder, DMD, MD

(Professor of Oral, Maxillo-Facial Surgery and Otolaryngology at the Mount Sinai  
School of Medicine.)

## 5. シンポジウム

### 1) 口腔がん研究関連

座長: 川又 均 先生 (獨協医科大学医学部口腔外科学講座)

内田 大亮 先生 (愛媛大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座)

演者: 福本 正知 先生 (獨協医科大学医学部口腔外科学講座)

中城 公一 先生 (愛媛大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座)

北村 直也 先生 (高知大学医学部歯科口腔外科学講座)

川野真太郎 先生 (九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座  
顎顔面腫瘍制御学分野)

### 2) 多領域手術に学ぶ

『他科の手術に学ぶ』

座長: 太田 嘉英 先生 (東海大学医学部専門診療学系口腔外科学領域)

座長: 伏見 千宙 先生 (国際医療福祉大学三田病院・頭頸部外科)

演者: 花井 信広 先生 (愛知県がんセンター・頭頸部外科)

小柳 和夫 先生 (東海大学・医学部外科学系消化器外科学領域)

王 耀東 先生 (東京医科歯科大学医学部整形外科学分野)

3) 顎変形症系臨床関連

『顎変形症患者の機能改善を目指して』

座長：小林 正治 先生 (新潟大学組織再建口腔外科学分野)

上木耕一郎 先生 (山梨大学歯科口腔外科学講座)

演者：上木耕一郎 先生 (山梨大学歯科口腔外科学講座)

川合 暢彦 先生 (神奈川歯科大学歯科矯正学講座)

長谷部大地 先生 (新潟大学組織再建口腔外科学分野)

4) MRONJ 関連 (日本口腔外科学会・日本骨粗鬆症学会合同シンポジウム)

座長：岸本 裕充 先生 (兵庫医科大学歯科口腔外科学講座)

北川 善政 先生 (北海道大学大学院歯学研究院口腔診断内科学教室)

演者：岸本 裕充 先生 (兵庫医科大学歯科口腔外科学講座)

栗田 浩 先生 (信州大学医学部歯科口腔外科)

井上 大輔 先生 (帝京大学ちば総合医療センター第三内科)

萩野 浩 先生 (鳥取大学医学部保健学科)

5) 若手口腔外科医シンポジウム

演者未定

6) SARS-CoV2 感染防護関連

座長：阪井 丘芳 先生 (大阪大学大学院歯学研究科)

岸本 裕充 先生 (兵庫医科大学)

演者：加來 浩器 先生 (防衛医学研究センター)

岸本 裕充 先生 (兵庫医科大学)

阪井 丘芳 先生 (大阪大学大学院歯学研究科)

7) 災害歯科医療関連

『災害現場に赴く歯科医師のあり方. 自衛隊との連携と、有事における最先端の研究について』

座長：松江 高仁 先生 (自衛隊中央病院歯科)

演者：中久木康一 先生 (東京医科歯科大学救急災害医学分野)

相羽 寿史 先生 (陸上自衛隊東部方面衛生隊)

飯塚 浩道 先生 (自衛隊中央病院歯科)

木下 学 先生 (防衛医科大学校免疫・微生物学講座)

8) JOMSUMP アジア口腔外科学会関連／

アジア・世界の口腔外科学会における日本口腔外科学会の未来を俯瞰する

『アジア・世界の口腔外科学会における日本口腔外科学会の未来と JOMSUMP の役割』

座長：高橋 哲 先生 (東北大学大学院歯学研究科病態マネジメント歯学講座  
顎顔面・口腔外科学分野)

濱田 良樹 先生 (鶴見大学歯学部口腔顎顔面外科学講座)

演者：瀬戸 暁一 先生 (総合南東北病院口腔外科)

栗田 賢一 先生 (愛知学院大学歯学部顎顔面口腔外科学講座)

高橋 哲 先生 (東北大学大学院歯学研究科病態マネジメント歯学講座  
顎顔面・口腔外科学分野)

濱田 良樹 先生 (鶴見大学歯学部口腔顎顔面外科学講座)

菅野 貴浩 先生 (島根大学医学部歯科口腔外科学講座)

9) カスタムデバイス関連

- 座長：植野 高章 先生 (大阪医科薬科大学医学部口腔外科学)  
明石 昌也 先生 (神戸大学医学部附属病院 歯科口腔外科)  
演者：中野 旬之 先生 (金沢医科大学医学部歯科口腔外科)  
井上 和也 先生 (大阪医科薬科大学医学部口腔外科学教室)  
大山 巖雄 先生 (静岡市立静岡病院口腔外科)  
楠元 順哉 先生 (神戸大学医学部附属病院手術部)  
神尾 崇 先生 (日本歯科大学生命歯学部放射線学講座)  
上田 倫弘 先生 (北海道がんセンター口腔腫瘍外科)

10) TMJ replace 関連

『日本における全置換型人工顎関節の現状と展望』

- 座長：依田 哲也 先生 (東京医科歯科大学大学院顎顔面外科学分野)  
演者：儀武 啓幸 先生 (東京医科歯科大学大学院)  
太田 嘉英 先生 (東海大学医学部口腔外科学)  
相川 友直 先生 (広島大学大学院医系科学研究科口腔外科学)  
西久保周一 先生 (日本大学学歯学部口腔外科学第 I 講座)

11) 睡眠歯科医療関連

『口腔外科による睡眠歯科医療の現状と発展性』

- 座長：柳本 惣市 先生 (広島大学大学院医系科学研究科口腔腫瘍制御学)  
佐藤 一道 先生 (国際医療福祉大学成田病院歯科・口腔外科)  
演者：有坂 岳大 先生 (帝京大学医学部歯科口腔外科)  
山本 知由 先生 (あいち小児保健医療総合センター歯科・口腔外科)  
矢島 康治 先生 (横浜市立大学医学部歯科口腔外科)  
中野 旬之 先生 (大阪医科薬科大学口腔外科学教室)

6. 口腔3学会合同シンポジウム

『頸部リンパ節病変の診断と対応』

- 原田 浩之 先生 (東京医科歯科大学顎口腔外科学分野)  
演者未定

7. 病院歯科口腔外科シンポジウム

演者未定

8. 男女共同参画委員会シンポジウム (仮)

- 日比 英晴 先生 (名古屋大学大学院医学系研究科)  
演者未定

9. 口腔外科スキルアップのためのミニレクチャー・ビデオレクチャー

オンデマンド形式での開催を予定しております。

一般演題発表の日時などが決定したのち、学術大会ホームページに、開催日時、企画内容、講師、参加費、登録方法等の詳細を掲載しますので、奮ってご参加願います。

## 10. その他、現在、併催が予定されているプログラム

- 優秀口演発表賞ノミネート演題口演
- 一般演題（口演・ポスター）
- ランチョンセミナー
- 市民公開講座
- 口腔がん登録説明会経過報告会
- 第 37 回日本病院歯科口腔外科協議会学術集会
- 国際口腔顎顔面外科専門医説明会
- 第 53 回全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議
- 第 7 回脱タバコ社会実現委員会ミニシンポジウム
- 第 10 回日本顎関節外科研究会
- 口腔細胞診セミナー
- 第 5 回口腔粘膜蛍光観察研究会
- 第 10 回口腔がん低侵襲診断治療研究会
- 歯科衛生士会研究会
- 第 18 回歯科・口腔外科看護研究会
- 精密触覚機能研修会
- 口腔外科 ECC トレーニングサイト AHA-BLS コース

## II. 演題募集要項

第 67 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会に演題を応募される方は、以下の募集要項に従ってお申込みください。なお、詳細はホームページに掲載いたしますので、応募の際は必ずご確認願います。

### 1. 演題募集期間

2022 年 3 月 8 日（火）～ 5 月 11 日（水）正午

### 2. 演題申し込み資格

「筆頭演者」および「共同演者」は（公社）日本口腔外科学会の会員に限ります。

未入会の方は、演題申込前に学会事務局にご連絡のうえ、手続きを行ってください。ただし、学部学生および、日本歯科放射線学会ならびに日本臨床口腔病理学会との申し合わせに基づき、両学会の会員が「共同演者」になる場合、本学会の会員資格は必須ではありません。

#### 入会申し込み先

（公社）日本口腔外科学会 事務局

〒108-0014 東京都港区芝 5-27-1 三田 SS ビル 3F

TEL：03-5422-7731 FAX：03-6381-7471 E-mail：office@jsoms.or.jp

学会ホームページ：<https://www.jsoms.or.jp/>

### 3. 演題申し込み方法

学術大会ホームページ (<http://web.apollon.nta.co.jp/jsoms2022/>) にアクセスし、UMIN オンライン演題登録システムによる申し込みに限ります。以下、演題申込に関する詳細は、必ず当ホームページを参照してください。

### 4. 倫理指針について

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」等が適用される研究については、それらの指針に基づき、各機関等における倫理審査委員会の審査に基づく機関の長の許可を得て行われていることが必要です。今回、本学会もこれに準拠し、演題応募の際に倫理審査申告を試行させていただくことといたしました。

詳細は日本口腔外科学会 HP 「日本口腔外科学会への演題応募における倫理手続きに関する指針」を参照してください。

### 5. 演題登録区分

- 口演発表Ⅰ（優秀発表賞へのエントリーなし）
- 口演発表Ⅱ（優秀発表賞へのエントリーあり）
- 示説（ポスター）発表Ⅰ（優秀ポスター発表賞へのエントリーなし）
- 示説（ポスター）発表Ⅱ（優秀ポスター発表賞へのエントリーあり）

### 6. 抄録作成要項

日本口腔外科学会雑誌の投稿規定および用字用語例などに準拠して作成してください。

また、学会ホームページにある「医学論文における患者プライバシー保護ならびに研究倫理に関する指針」を遵守してください。

研究報告の場合、【緒言（目的）】、【材料（対象）・方法】、【結果】、【結論】を、症例報告の場合、【緒言】、【症例の概要】、【結果（結語）】を必ず記載してください。

### 7. 抄録（日本語）の文字数制限について

演題名：全角 40 文字以内、抄録本文：全角 600 文字以内、総文字数（演題名・著者名・所属施設名・抄録本文の合計）：全角 1,000 文字以内、著者数（筆頭演者＋共著者）：10 名以内、所属施設数：10 施設以内、とします。

### 8. 抄録（英語）の文字数制限について

演題名：20 words 以内、抄録本文：400 words 以内、総文字数（演題名・著者名・所属施設名・抄録本文の合計）：800 words 以内、著者数（筆頭演者＋共著者）：10 名以内、所属施設数：10 施設以内、とします。

なお、演題名については日英両方の登録を必須、抄録本文についてはポスター発表は日英いずれかより選択可とします。

## 9. 優秀口演発表賞ならびに優秀ポスター発表賞へのエントリーについて

事前審査の日程上、演題募集の締切日（5月11日）を厳守してください。なお、一般演題募集の締め切りが延長された場合でも、本賞の応募締切は延期いたしません。延長した後に応募や修正されたものは審査対象となりませんので、ご注意ください。

### 1) 優秀口演発表賞

#### ①応募方法

エントリー制を採用します。本賞へのエントリーを希望する方は、演題応募の際、600字以内の抄録の他に1,000字以内の追加抄録を同時に提出してください。追加抄録には、研究内容の意義と、その中で今回の発表結果から得られた知見を明示し、さらに今後の展望について記載してください。なお、審査対象演題は「基礎的研究」と「臨床的研究」の2部門としますので、エントリーに際し必ずいずれかを選択してください。単なる症例報告は審査対象とはなりません。

#### ・「臨床的研究」「基礎的研究」の定義

**「臨床的研究」** 臨床医学における問題意識に立脚して臨床現場において行われる研究で、観察研究、介入研究、疫学研究、システマティックレビューなどの二次的研究を指します。なお、臨床材料（組織、細胞、標本）を用いて予後など臨床的な検討を行ったものは臨床的研究に入ります。

**「基礎的研究」** 「臨床的研究」以外の研究を指しますが、臨床材料（組織、細胞、標本）を用いた研究であっても、疾病原因の機序の解明や治療法の開発などを目的に、培養細胞や実験動物を用いた研究で、直接臨床データに係わらない研究は基礎的研究に含まれます。

#### ②審査方法

学術奨励賞等選考委員会が、エントリーされた演題の抄録と追加抄録を事前審査し、10演題をノミネート演題として採択し、10演題全てを口演発表賞として表彰します。さらに、その中から、学術大会における口演発表内容等をあわせて審査し、最優秀口演発表賞1演題、優秀口演発表賞3演題を選考します。ただし、抄録内容と発表内容に大きな齟齬がある場合には受賞を取消することがありますので、ご注意願います。

なお、ノミネート演題に採択されなかった演題は、一般口演として採用します。

### 2) 優秀ポスター発表賞

#### ①応募方法

エントリー制を採用します。抄録本文は「日本語600字以内」または「英語半角400ワード以内」のみで、追加抄録は不要です。

#### ②審査方法

学術奨励賞等選考委員会がエントリーされた演題の抄録を事前審査し、約50演題をノミネート演題として採択します。学術大会において優秀ポスター発表賞評価委員が、ポスター発表を評価し、学術奨励賞等選考委員会で約20演題に本賞を授与します。

なお、ノミネート演題に採択されなかった演題は、一般ポスター演題として採用します。

※ ポスターの表記言語、および抄録登録は、英語または日本語のどちらでも可能です。

## 10. 発表形式

演題申込時に必ずご希望の発表形式を選択してください。なお、演題採択時に発表形式の変更を指示させていただく場合もありますので、ご了承ください。

### ①口演発表

ノミネート演題の発表時間は1題9分・質疑応答3分、一般口演演題の発表時間は1題7分・質疑応答3分を予定しております。Microsoft PowerPointを用いた発表に限ります。スライド枚数の制限はありませんが、時間厳守でお願いします。

### ②示説（ポスター）発表

ポスター会場における発表と質疑応答を予定しております。

会場にはポスター貼り付けのためのパネルボード（縦210cm、横90cm）を設置しますので、発表者自身に掲示していただきます。

すべてのポスターセッションは、1題3分・質疑応答2分を予定しております。

また、今回は会場での発表とあわせて「eポスター」の掲載も実施します。発表者には事前にeポスターのデータをご提出いただき、WEBサイト上で参加者が閲覧できるようにいたします。

### ③演題の採否

申込演題の採否および発表形式の決定は、学術大会企画運営委員会にご一任ください。

口演・示説の発表形式については、希望とは異なる形式での採択となる可能性もありますので、ご了承願います。

採否結果のご連絡は、8月上旬頃にメール等でお知らせする予定です。

### ④利益相反（COI）の開示について

演題登録画面の「利益相反（COI）状態」の項目にて、「有・無」を選択してください。

「有」の場合は、大会ホームページよりダウンロードした申告書に必要事項をご記入のうえ、運営事務局（株式会社日本旅行）までFAXまたはメールにてお送りください。

## 11. 募集カテゴリ

お申込時に選択いただくカテゴリは以下の通りとなります。

<カテゴリ-1：演題内容分類（必須）>

1. 基礎的研究
2. 臨床的研究
3. 症例報告

※「臨床的研究」：医療における疾病の予防方法、診断方法および治療方法の改善、疾病原因および病態の理解ならびに生活の質の向上を目的として実地されるヒトを対象とした研究

※「基礎的研究」：「臨床的研究」以外の研究

< カテゴリー 2 : 内容再分類 1 (必須) >

1	MRONJ/ARONJ 関連	12	神経系疾患
2	インプラント	13	睡眠時無呼吸
3	悪性腫瘍	14	摂食嚥下
4	外傷	15	先天異常
5	顎関節	16	唾液腺疾患
6	感染症 (MRONJ/ARONJ 以外)	17	粘膜疾患
7	血液疾患	18	嚢胞
8	再建手術	19	発育異常・顎変形症
9	再生医学・医療	20	抜歯
10	周術期管理	21	良性腫瘍
11	心身医学	22	その他

< カテゴリー 3 : 内容再分類 2 >

1	病態	7	口腔機能
2	診断	8	生体材料
3	手術 (再建を含む)	9	統計・疫学・治療成績
4	手術以外の治療法	10	社会医学
5	動注・化学療法	11	その他
6	周術期管理・麻酔		

### Ⅲ. 学術大会 (以下「学会」) 事前参加登録, 学会参加費について

#### 1. 学会の事前登録ならびに学会参加費前納について

学会当日の混乱を回避するため, 事前参加登録と参加費前納にご協力願います。

事前参加登録期間: 2022年4月4日(月) ~ 11月3日(木)

当日・オンデマンド期間: 2022年11月4日(金) ~ 30日(水)

#### 2. 学会参加費

第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会における学会参加費は下記のとおりです。

正会員の皆さまには, 学会ホームページより「学会参加費の前納 (事前参加登録)」にご協力願います。

記号	資格区分	学会参加費 (事前)	学会参加費 (当日・オンデマンド期間)
A	正会員	15,000 円	17,000 円
B	準会員・口腔外科関連医療従事者	3,000 円	3,000 円
C	非会員 (歯科医師・医師・患者支援団体等)	17,000 円	20,000 円
D	海外参加者	16,000 円	16,000 円
E	一般市民 患者・患者家族	取り扱いなし	3,000 円
F	学生 (歯学部・歯科大学および医学部・医科大学に在学中の学部学生 歯科衛生士養成学校・看護師養成学校等に在学中の学生)	無料	無料

※ 当日料金は 11 月 4 日 (金) より適応

### 3. 会員懇親会

2022年11月5日（土）16時より、ポスタ会場―幕張メッセ展示ホールにおいてポスター討議と共に会員懇親会を開催いたします。皆様、奮ってご参加をいただけますと幸いです。  
参加費は当日チケット購入制とさせていただきます予定です。

### 4. お支払い方法

お支払いはクレジットカード、銀行振込、コンビニ決済をご利用いただけます。

### 5. 託児所について

受け入れ人数に限りがありますが、託児所の設営を予定しております。準備が整い次第、学術大会ホームページから受付（事前予約のみ）を行いますので、ご確認ください。

## IV. お問い合わせ

大会事務局：日本大学歯学部口腔外科学第Ⅰ講座

〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台1-8-13

TEL：03-3219-8082 FAX：03-3219-8356

### 【学術大会に関するお問い合わせ】

運営事務局：株式会社日本旅行 東日本法人支店内

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10-11 日本橋府川ビル

TEL：03-6892-5104 FAX：03-6892-1830

E-mail：jsoms2022@nta.co.jp

（平日9：30～17：30 土・日・祝除く）